

公契約請願採択 沼田市議会

「公契約法」の制定を求める意見書を提出

沼田市議会は22日の本会議で、利根沼田労働組合会議（加藤貴議長）から提出されていた「公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため、『公契約法』の制定に関する意見書の採択を求める請願」を全会一致で採択し、国に対して「公契約法」の制定を求める意見書を提出しました。

同時に提出されていた沼田市に『公契約条例制定を求める請願』は、趣旨採択となりました。また、日本労働組合総連合沼田地域協議会（中村一喜議長）から提出されていた同趣旨の「公契約基本法」の制定を求める請願もみなし採択となりました。

最低保障年金創設を求める請願は趣旨採択

年金制度改革に関する意見書を提出

昨年12月議会に全日本年金者組合利根支部（宮内堯夫支部長）などから提出されていた「全額国庫負担の『最低保障年金制度』創設を政府に求める請願書」は、22日の本会議で「趣旨採択」となり、「年金制度改革に関する意見書」を全会一致で国へ提出しました。

年金制度改革に関する意見書の要旨を紹介します。

年金制度改革に関する意見書

- 1 将来に向けて持続可能な年金制度を構築するため、最低保障年金を含め、そのあり方について広く国民各層による議論を行なったうえで、適切な見直しを行なうこと。
- 2 受給資格を満たすことのできない無年金者及び低年金者に対し、国の責任で一定の救済措置を講じること。

ふれあい福祉センターに16人 被災者受け入れ

沼田市は、ふれあい福祉センター、白沢健康福祉センター、望郷の湯、しゃくなげの湯で東日本大震災の被災者200人を受け入れる予定です。しかし積極的に受け入れ表明を行なわないので、21日現在、ふれあい福祉センターでの16人の受け入れにとどまっています。日本共産党井之川博幸市議は、支部の仲間と被災者を訪ね、お見舞いと要望などの聞き取りを行なっています。この他、市内には親戚や友人を頼って、70人ほどが避難をしてくれています。

沼田市では、老神温泉や玉原ペンション街などで避難民の受け入れを市に申し出ていますが、沼田市はまったく対応していません。市民の間から、「沼田市は対応が遅い」と批判の声があがっています。井之川市議は、22日の市議会全員協議会で、「市は対応を早めるよう」要求しました。

* 沼田市の避難民相談窓口は 0278-23-2111

救援募金にご協力下さい

日本共産党は、中央委員会を始め各地の地区委員会などで「救援募金」を受け付けております。また、街頭などでも救援募金活動を行なっておりますので、ご協力をよろしくお願いたします。

〈利根沼田地区委員会〉

下記の連絡先に電話していただければお伺いいたします。

○利根沼田地区委員会 23-1519

○井之川博幸市議 090-7278-6199



街頭から募金を訴える井之川市議と日本共産党

2011年3月27日 No.554

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料